

様式第4

騒音の防止の方法変更届出書

〇〇年 〇〇月 〇〇日

会津若松市長 様

※届出者は元請業者となります。

届出者 会津若松市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 〇〇〇- 〇〇〇〇

騒音規制法第8条第1項の規定により、騒音の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△株式会社 △△工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	会津若松市△△町△ 丁目△番△号	※ 受 理 年 月 日	年 月 日
△騒音の防止の方法	変更前	変更後	※ 施 設 番 号
	別紙のとおり。		※ 審 査 結 果
			※ 備 考

- 備考 1 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。また、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4 とすること。
- 4 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。

騒音防止の方法

	変 更 前	変 更 後
音源での騒音レベル (dB(A))	70 dB (機側より 1m)	70 dB (機側より 1m)
建屋の壁材質と厚さ	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm
敷地境界までの距離 (m)	10 m	10 m
その他の騒音 防 止 対 策	特になし	防音壁の 別途対策を行っている場合、 記入
敷地境界線での騒音 レベルの予測値 (dB(A))	60 dB	50 dB 下記の計算結果を記入
騒音特定工場等の 周 辺 の 状 況	<p>周辺の状況について記入 なお、近隣50m以内に学校、保育所、病院、図書館、老人ホーム等 (※詳細は手引き p.5を御覧ください)、がある場合は必ず記入。</p>	
(防音・遮音計算)	<p>計算過程・結果を記入してください。</p> <p>※予測値が基準値を超えないよう防音対策をしてください。</p>	

備 考

- 1 その他の騒音防止対策の欄には、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を記入すること。
- 2 騒音特定工場等の立面図を添付すること。